

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	障がい者入浴施設利用助成事業	担当者	民生課	福祉係
-------	----------------	-----	-----	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村/福祉、保健、医療の充実/障がい者福祉			
関連する主な計画等				
根拠法	介護予防・地域支え合い事業実施要綱			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	在宅重度心身障がい者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	在宅の重度心身障がい者に温泉入浴の機会を提供し、在宅生活支援の一助とする					
具体的取組	地域包括支援センターや保健師と連携して必要な情報を提供する 「湯ったり～な昼神」の家族風呂(リフト付き)利用料金の助成を行う 1回 1,000円					
実績・効果	対象者の温泉利用と介護者の負担軽減が図られる					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	0	0	0	50	50
	うち一般財源				50	50
	うち補助金					
	うち個人負担					
従事職員	正規職員					
	(人) 臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	c	要望の声は聞かぬが、利用に至らない 対象者にとっては他の手段がない 目的に沿った設定となっている 村が直接行うことが望ましい	C
	手段、成果は妥当か	b		
	対象者の設定は妥当か	a		
	村の関与は妥当か	a		
有効性	期待された効果が得られたか	対象者の温泉利用と介護者の負担軽減が図られる		C
効率性	コストの削減に努めたか	c	コスト削減対象には不適當	C
	効率性を高める工夫はされたか	a	利用に応じて扶助	
公平性	受益者負担は適切か	一般入浴料は自己負担となっている		A
総合評価	C			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	制度の内容や周知方法を見直す。
今後の取り組み	27年度中に見直しを行い、介護予防・地域支え合い事業の一部として事業化し、地域において自立した生活ができるよう支援していく。